

# てんてい新聞

17.10.No.244  
発行 市岡田出版  
責任 0883-88-5292

## ななく

-ツモバツラ-

## 杖が一日一日

あの暑い暑いと言ったのは、冷えたときでした。それども、日中は、まだまじまじと気温があがると、ソックスが汗を吸って、足の裏が、こきりこきりします。

杖やヌルテ、ソックスなどは、色あざむきはじめています。山を歩いていると、クワを拾って食べる甘い...

アケビも食べ頃になつて、先月とちよど争の届人所にあり、ウキウキしながら、食べました。子供の頃の事を思い出しながら、三ヶ月前をペロリと。サルナシへは、ウキウキもあつて、食べるとみる。キウイの原種というが、まさにその通り。ちよどウキウキという程、小さい、実ですが、はかまの味です。春の山菜、秋の木の皮、キノコ、いびきすお



## 性徴心

ごはと言われ、首輪付けの保護され、次の日、保健行行手びつて、おどかす... まだ名前をつけておびながら、性徴心... ぬれぬれしめる、この大、非常に人のことを理解しているのが、言う事を聞かないと、おどかしい。それども、この大に生活をあわせる様になつて、性徴心の頃、退屈のまじになり、癒されれます。

花を、秋の花になつてきた。ソバの花もあつちの畑で風に揺れている。少なうなつてきたといふ祖谷の名物の一つだ。そして、アケビ、ソウ、ニンニク、ツモバツラと咲きこころ。ススキと時論、風に波打てる様に揺れる。こぼれ見とれる、こぼれもある。外果種のセイタカアワダケソウも咲きはじめた。蔵にちにとそは、数々はいっぱいさうじさうじだ。もうすぐ、葉草のセブリーも時々みかけられる。ゲニソウ、ソウもピンク、白と群生している。見事です。

我らが主役の10月にしよう

-ツモバツラ-

